

事務事業名		人材誘導事業		会計		一般会計		事業種別		政策		開始		18		終了			
課等名		産業振興支援課		係等名		雇用人材誘導係													
基本計画上の位置づけ		政策		1		多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり													
		施策		13		新しい力による新しい産業づくり													
目的		対象(誰・何を)		①高校卒業生のうち進学者 ②UIターン希望者数		対象指標		指標名及び単位				24年度数値							
		意図(どういう状態にするか)		UIターン希望者及び新規学卒者(大学・短大・専門学校、高校卒業生)が飯田下伊那地域で就業・定住する。				①ハローワーク管内の高校卒業生のうち進学者数:人(H25.3)				1129							
		向上させたい上位施策の成果指標		新規就業者数(学卒者)				②登録UIターン希望者数(結ターンキャリアデザイン室取扱):人				158							
目標		種別		指標名及び単位				24年度計画		24年度実績		25年度計画		28年度見込み		備考(指標変更など)			
		成果指標		新規学卒者(大学・短大・専門学校、高校卒業生)の地元就職者数:人				630		696		700		720					
		成果指標		UIターン者数(結ターンキャリアデザイン室取扱):人				65		52		70		80					
		定性目標																	
事業概要		各産業や地域にとって必要な人材を飯田下伊那地域に誘導し、定着するまでの支援を行なう。 [手段] 1 人材誘導窓口「結いターン キャリアデザイン室」の運営: UIターン相談の実施 2 プロモーション戦略: ブログ、パンフレット、時季を絞ったキャンペーンなどによる人材誘導 3 インキュベーション戦略: ハローワーク、職業安定協会等関係機関と協力した、就業・定住推進																	
		事業内容																	
24年度事業内容		1 プロモーション戦略によるPR インターネットを活用した人材誘導PR(結いターンブログによる情報発信) 新イメージキャラクターを「ゆいたん」とする 2 結いターンキャリアデザイン室の運営におけるUIターン事業の推進 (1)UIターン相談会の開催 ア 市内での合同企業面接会でUIターンブースによる相談の実施 イ お盆と正月のUIターン相談会実施 (2)関係機関と連携したUIターン推進 ア 職業安定協会、ハローワーク、大学、短大、長野県など人材ネットワークによる人材誘導 イ 企業合同就職セミナーへの参加 ウ 高校生に向けたUIターン推進の検討						1 HP訪問者数 2 UIターン相談者数						35,498人 158人					
		事業コスト		23年度決算額		24年度予算額		24年度決算額		25年度予算額		特定財源内訳、補足							
事業費計(千円)①		4,004		3,823		3,549		3,829		[24特定財源](そ)ふるさと税 130千円 [25特定財源](そ)ふるさと税 0千円									
国庫支出金																			
県支出金																			
起債																			
その他		100				130													
一般財源		3,904		3,823		3,419		3,829											
人件費計(千円)②		10,553				10,553													
正規職員所要時間		2,500				2,500													
臨時職員所要時間		1,500				1,500													
総事業費①+②		14,557		3,823		14,102		3,829											
事業内容・目標達成状況の振り返り		実績者は昨年度以上の数値となった。要因は雇用情勢の改善傾向とUIターン志向の学生や社会人の増加が考えられる。UIターン者数はさらに増やしていく必要がある。																	
改革改善の考え方		①問題点		ターゲットを絞った人材誘導が必要、特に地域が必要とする人材について調査が必要。実績者が目標に近づくように希望者と企業とのマッチング機能が必要がある。															
		②改革提案		企業の採用担当者との必要な人材についてのヒヤリングの実施し、専門の関係機関と連携しての人材バンク制度を強化していく方向で進めていく。															